

社会福祉法人宇和島市民共済会
令和2年度事業計画書
(老人デイサービスセンターいこい)

今年度目標

安定した状態を継続する事が難しい事業であると思われるが、軽度者の切り捨てが行われる介護保険事業の中で継続していく以上、重度者対応は最も重要な柱の一つである。職員の資質向上とご利用者様の顧客満足度を上げるための取り組みに努める。

事業内容

(1) 実施日及び実施時間

○実施日

月曜日から土曜日までとする。但し、年末年始（12月29日～1月3日）並びに本法人が必要と認めた日を除く。

○実施時間

基本的には、午前8時30分から午後5時の時間帯で、概ね5～6時間の時間帯サービスを提供する。（ケースに応じ短縮・延長も検討）

尚、予防給付の要支援者については、概ね5時間でのサービスを提供する。

(2) 利用定員

○1日当たり30名以内（予防給付の要支援者含む）

(3) 職員配置状況

○事業所長（管理責任者）	1名
○生活相談員	2名（1名は介護職員兼務）
○介護職員	7名（1名は生活相談員兼務）
○看護職員及び機能訓練指導員	2名
○栄養士	1名

(4) サービス内容

○送迎

○生活指導（相談援助等）

○機能訓練

○日常介護サービス

○給食サービス（介護保険対象外）

○入浴サービス

○健康チェック

○アクティビティサービス（レクリエーション）

○施設外活動（そうめん流し、桜花見、コスモス見物、初詣等、年6回程度）

○その他、サービスの提供に必要と認められる援助

※デイサービス年間行事計画及び日課表については別紙参照。

運営方針

通常の日サービスより重度の方に手厚い介護を行う事業所として、看護師を中心として実施しており、相談員、介護職員もご家族との信頼関係構築に取り組みながら他事業所のケアマネージャーとのコミュニケーションに問題が無いか検証する。

今年度事業目標

- (1) 総合事業への対応
 - 体制の整備と強化及び、各職員の技能と知識の習得
 - 地域包括支援センターを中心とした通所事業所連絡会の有効活用
 - 今後の宇和島市の総合事業計画への対応準備
- (2) 介護支援専門員、及び関係諸機関との連携
 - サービス担当者会議への積極的な参加
 - 介護支援専門員へ、一月ごとの利用者状況報告の実施及び計画書の配布
 - 関係諸機関及び行政機関・地域包括支援センター等への情報提供・収集
 - 地域医療機関との連携強化
- (3) 地域住民、家族との連携
 - ボランティア参加への啓発活動
 - 地域の幼稚園、小中学校また地域住民との交流推進
 - 介護実習生の積極的な受け入れ
 - いこいノートの有効利用による家族とのコミュニケーション構築
 - 家族の状況や精神状態にも配慮した家庭訪問の実施
- (4) サービス内容の充実
 - 生活行為向上支援のため、居宅での環境を確認
 - アセスメントとケアプランから個々の利用者ごとに実施目標を設定し、通所介護計画を作成する。
 - 入浴方法の検討（自立支援を目的とした中間浴、特殊浴利用の検討）
 - 食事メニュー、方法の検討（個別のメニュー、食材、摂取方法の検討）
 - 週1回のケース検討会議実施と記録の整備
 - 介護サービス情報の公表制度への対応
- (5) レクリエーション活動の充実
 - みんなでより楽しんでいただけるレクリエーションの実施
 - レクリエーション技術習得のための研修及び情報の収集・実践
- (6) 各種マニュアルの活用
 - 緊急時対応（病気・事故など）の周知徹底及び研修への積極的な参加
 - 事故発生時の迅速な対応方法強化と、防災訓練の実施
 - 家族・介護支援専門員等との関係強化及び、リスク情報の共有体制強化
 - 認知症・重度等の利用者に対するケア技術の強化
- (7) 研修
 - 各研修会への積極的な参加
 - 施設内研修の企画及び実施
- (8) 介護職員処遇改善交付金の継続申請
 - 交付金見込額から賃金改善計画を作成
 - 事業者の職員全員に計画書の内容の周知を行う
 - 申請書・処遇改善計画書の提出
 - 対象事業者の承認
 - 介護報酬の請求・交付金の受領
 - 事業実績報告書の提出